

# OVER TIME<sup>®</sup>

## 録画機能付き 14インチ ポータブルTV

### OT-PFT14TE-WH

#### 取扱説明書



家庭用



この度は本製品をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。

<使用開始前に必ずお読みください!>

【ご注意】USB外付けハードディスクをご使用の場合、本製品を初期化や修理をされますと録画データはご覧になれなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になる恐れがあります。  
本書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱い方を示しています。本書をよくお読みの上、製品を安全かつ丁寧にお使いください。
- 本書をお読みになった後はお買上げ証明書(押印ある伝票、レシートなど)と一緒に大切に保管してください。  
保証書に手書きのみは無効です。不備がある場合はお買上げ店にご相談ください。  
保証期間はお買上げ日より1年間ですが有償になる場合がございます。ご使用開始前に【保証規定】【保証書】も、お読みください。間違った使用や改良その他の不具合は無償保証対象外になります。
- 本機は一般家庭用です。業務用や車載用ではありません。連続長時間の使用は不良発生のリスクを高めます。  
振動に弱い精密機器ですので付属の車載バッグを使用して後部座席搭乗者の視聴以外の使用は厳禁します。
- リモコンの電池にもご注意ください。お子様やペットが触れない所に置いてください。
- 本書の再発行はいたしません。

ダイヤモンドヘッド株式会社

# 目次 (もくじ)

<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
安全上のご注意 .....	3
使用上のご注意とお願い .....	5
付属品のご確認 .....	6
<b>準備</b> .....	<b>7</b>
各部の名称 (本体) .....	7
各部の名称 (リモコン) .....	8
テレビの設定 .....	9
設置する .....	9
アンテナの接続 .....	10
各端子部などの名称 .....	11
miniB-CAS カードの準備 .....	11
リモコンの準備 .....	12
電源コードをつなぐ .....	12
電源を入れる .....	12
<b>チャンネルの初期設定</b> .....	<b>13</b>
<b>テレビを視聴する</b> .....	<b>16</b>
基本的な使い方 .....	16
電子番組表 (EPG) を使う .....	18
<b>録画機能を使う</b> .....	<b>19</b>
番組録画 (予約) 機能について .....	19
録画用外部メモリーの準備 .....	20
番組録画に関する各機能を使う .....	22
<b>テレビモード時のリモコン操作/各種設定</b> .....	<b>25</b>
テレビモード時の本体設定 .....	26
<b>付加機能を使う</b> .....	<b>27</b>
外部機器と接続する .....	27
外部メモリーデータの再生 .....	28
<b>付加機能使用時のリモコン操作/各種設定</b> .....	<b>30</b>
<b>その他</b> .....	<b>31</b>
故障かな?と思ったら .....	31
内蔵電池について、録画用メモリーのファイル形式をPCで、 フォーマットする .....	33
製品仕様 .....	34
保証規定とアフターサービス、免責 .....	35
保証書 .....	36

## はじめに





本製品をご使用になる前に、以下の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。





安全上のご注意 .....	3
使用上のご注意とお願い .....	5
付属品の確認 .....	6

## 安全上のご注意







本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違えた使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながる恐れがあり大変危険です。

本製品および付属品をご使用されるときは、事故を防ぐため、以下の注意事項をよくご理解いただき、必ずお守りください。

 <b>警告</b> この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	
 高圧注意を表します。	 禁止を表します。
 必ず指示に従います。	







 <b>注意</b> この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。	
 接触禁止を表します。	 分解・修理・改造禁止を表します。
 コンセントの扱いに注意してください。	

## 警告










 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。
 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。
 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器をのせないでください。火災・感電の原因となります。
 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。
 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。

## 安全上のご注意

### 警告

-  本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないでください。
  -  電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。
  -  通風孔(放熱のための穴)をふさがないようにください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
  -   裏ぶたをはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。
- 下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。
-  ● 落としたりして機器が破損した
  - 機器の中にもものが入った
  - 熱器具に近づける
  - 液や煙、音、または異臭がでる
  - 機器を雨や湿気にさらした
  - 電源コードや電源プラグが破損した
  - 途中でつぎ足したりして加工する
  - トラブルシューティングで対応できない

### 注意

-  平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
  -  湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
  -  直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
  -  液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。
  -  音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
-  ● 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
  - テーブルクロスをかけたリ、じゅうたん、布団の上に置く。
-  移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。
  -  旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。
  -  お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



## 使用上のご注意とお願い

### ●デジタル放送のコピー制御について

本製品には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。デジタルテレビ放送ではコピー制御の為、B-CAS の機能を利用します。

挿入されないと、全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。カードを挿入していただくことで、地上デジタル放送の各番組をお楽しみいただけます。

(NHK や無料民放放送など)

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご視聴でき、また高画質のままに録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすこととなります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し魅力ある番組が製作されます。(ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)

### ●液晶パネルのドット欠けについて

液晶パネルには画面の一部に欠点(光らない点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは液晶パネルの製造上の特性に付き故障ではありません。

### ●本製品の温度について

本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

### ●設置室内の温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

### ●輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点の増加などの恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

### ●ゲーム機器との接続について

ガン(銃)タイプのコントローラーを使用するゲーム機器などは本製品では使用できない場合があります。詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。またゲーム機器の操作に対して、若干遅れて反応しているように感じられる場合があります。これは入力された信号が表示されるまでに、デジタル処理によるタイムラグが発生するため、故障ではありません。ゲームの種類や内容によっては、画面が欠けて表示される場合があります。

### ●お手入れについて

お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞ってから拭き取り、その後乾拭きしてください。

\*キャビネットの変質や破損・塗料剥がれなどの恐れがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。またゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。

\*液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護の為、以下の事をお守りください。

- ・パネルに硬いものや尖ったものを当てたり、強く押ししたり、こすったりしないでください。傷や変色の原因となります。
- ・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラや変色の原因となります。
- ・パネルの汚れを拭き取る時は、ホコリの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷や変色の原因となります。

### ●本製品を破棄するときは...

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。本製品を破棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

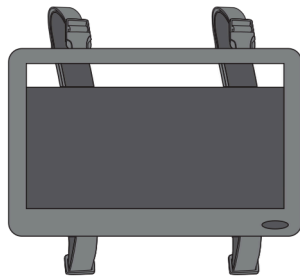
## 付属品のご確認

本機をご使用前に以下の同梱品が揃っているか必ずご確認ください。  
予告なしで変更の場合がございます。増減を含め正しい同梱品はパッケージの印刷とさせていただきます。

●本品には後席同乗者が視聴時に便利なカーバッグが付属しています。渋滞などで活用してください。



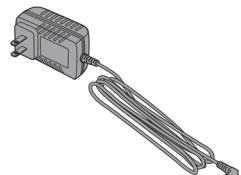
本体



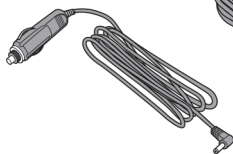
車載バッグ



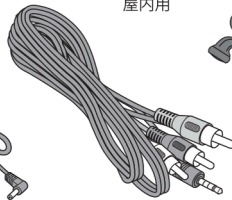
リモコン  
テスト用電池付属



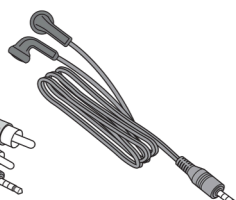
ACアダプター  
屋内用



カーアダプター  
12V シガーライター用  
24V、変圧器、分配器使用禁止



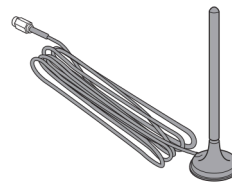
AVケーブル  
※市販品は合わない場合がありますので同梱品を使用してください



イヤホン



ミニB-CAS  
カード  
デジタル放送視聴用



簡易アンテナ



本書

取扱説明書兼保証書

### 車載用バッグの取付及び使用方法



車載バッグ (ヘッドレスト用)  
※上記画像は 13.3 型です

1-2 ヘッドレストのパイプに  
ベルトを回して装着し長さ  
を調整します

・本体を時計回りに慎重に 90°  
回して折りたたみます

・電源、ディスクを入れます

3 折りたたんだ本体をバッグに  
入れます

●リモコンで上手くいかない  
場合は先にディスク等を立ち  
上げてからバッグに入れて  
ください

#### ご注意：

- ・ヘッドレストの形状によっては装着できません
- ・再生中衝撃を受けると映像や音が飛びます
- ・悪路や天候不順時は絶対使用しないでください  
不具合を生じる恐れがあります

※画像とは異なる場合がありますが同等の物を付属します

■アダプター他当機純正付属品及び弊社提供品以外の、ご使用での不具合は無償対象外になります。  
また他社機器のサポートはしておりません(接続方法や相性、動作確認ほか)

■同梱の電池はモニター用です。早く切れる場合があります。

■車シガーライター用カーアダプターは車によっては形状が合わない場合があります。

※その場合は使用はできません。外国車は特にご注意ください。

■リモコンは、他の赤外線対応の機器等に反応しますのでご注意ください。特に車に反応する場合がありますので注意してください。

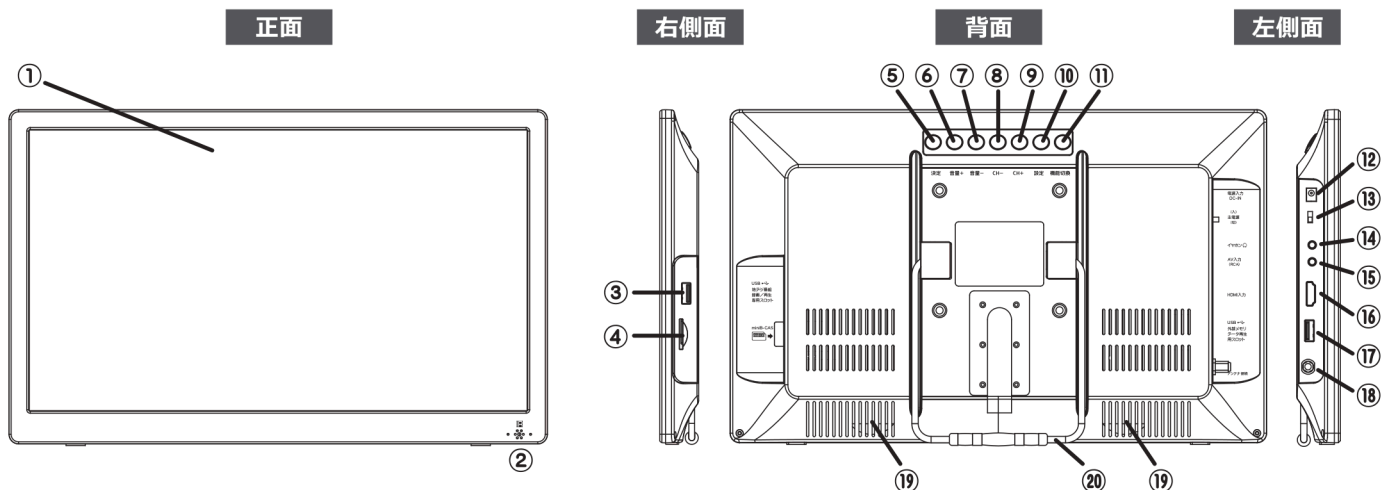
・梱包箱や副資材他は差しつえがなければ、なるべく保管されることをお奨めします。

# 準 備

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CASカードの挿入方法、本製品の各部名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

各部の名称 (本体) .....	7	各部の名称 (リモコン) .....	8
テレビの設定 .....	9	設置する .....	9
アンテナの接続 .....	10	各端子部などの名称 .....	11
miniB-CASカードの準備 .....	11	リモコンの準備 .....	12
電源コードをつなぐ .....	12	電源を入れる .....	12

## 各部の名称 (本体)



- ① **液晶パネル** ..... 視聴データを表示する画面です。
- ② **リモコン受光部** ..... リモコンで操作する時、こちらの方向に向けて操作します。  
**表示ランプ** ..... 本体や内蔵電池の状態を表示します。(赤):充電ランプ/(緑):電源ランプ
- ③ **地デジ録画用 USB 端子** ..... 地デジ放送番組を録画用メモリーに録画する時や、録画データを視聴する時に使用します。
- ④ **miniB-CAS カード挿入口** ... 付属の miniB-CAS カードを挿入します。
- ⑤ **決定ボタン** ..... 選択した項目を決定/実行する時に使用します。
- ⑥ **音量 (+) ボタン** ..... 音量の調整を行います。
- ⑦ **音量 (-) ボタン** ..... 音量の調整を行います。
- ⑧ **CH (-) ボタン** ..... 視聴する番組を選局します。
- ⑨ **CH (+) ボタン** ..... 視聴する番組を選局します。
- ⑩ **設定ボタン** ..... 設定メニュー画面を表示します。
- ⑪ **機能切換ボタン** ..... 視聴するデバイスを選択します。
- ⑫ **DC 電源入力端子** ..... 電源アダプター (AC / DC) の端子部を挿入します。
- ⑬ **主電源スイッチ (入/切)** ... 本体主電源の ON / OFF を行います。※OFF状態での予約録画はできません。
- ⑭ **イヤホン出力端子** ..... イヤホンで音源を視聴する時に使用します。
- ⑮ **AV 入力端子** ..... 外部機器 (DVD プレーヤーなど) から RCA 入力する時に使用します。
- ⑯ **HDMI 入力端子** ..... 外部機器 (DVD プレーヤーなど) から HDMI 入力する時に接続します。
- ⑰ **データ再生用 USB 端子** ..... 音楽や動画のデータを視聴する時に使用します。
- ⑱ **アンテナ入力端子** ..... 地デジ放送用アンテナと接続します。
- ⑲ **スピーカー部** ..... 音声を出力します。
- ⑳ **設置用スタンド** ..... 本機を立て掛けて設置する際に使用します。

**テレビ番組録画専用**

**外部データ再生専用**

## 各部の名称（リモコン）

※ご注意：本書に掲載している画面・イラストなどは機能等を説明する為のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

### 1：機能切換ボタン

画面表示するデータを切り換えます。  
(DTV→AV 入力→HDMI 入力→USB メモリ)

### 2：情報表示ボタン

テレビ番組視聴中：「1 回押す：番組名表示」  
「2 回押す：詳細情報表示」  
外部メモリ (USB/SD) データ再生中：操作ガイド表示

### 3：数字ボタン

チャンネル選局や設定時の数字入力時に使用します。

### 4：サーチボタン

本体に接続したアンテナで受信可能な放送番組を登録する／登録しなおす時に使用します。

### 5：設定ボタン

設定メニューを表示します。  
(再度押すとメニュー画面が消えます)

### 6：十字ボタン (▲▼◀▶)

設定や番組表のカーソル移動を行います。  
テレビ視聴中は▲▼で表示番組を切り換えます。

### 7：音声ボタン

音声設定を行ないます。(主／副／主+副音声)

### 8：〈赤〉〈緑〉〈黄〉〈青〉ボタン

番組表使用時や録画データ再生時に使用します。

### 9：早戻しボタン

録画データや外部メモリー内データの早戻しを行います。

### 10：タイムシフトボタン

テレビ番組視聴中にタイムシフト機能を使用します。  
録画データや外部メモリー内データの再生／一時停止を行います。

### 11：前へボタン

再生中データの一つ前のデータに移動します。

### 12：リピートボタン

外部メモリデータのリピート設定を行ないます。

### 13：EPG 番組表ボタン

視聴中チャンネルの EPG 番組ガイドを表示します。

### 14：電源ボタン

本体電源のオン／オフを切り換えます。

### 15：音量ボタン (+/- / 消音)

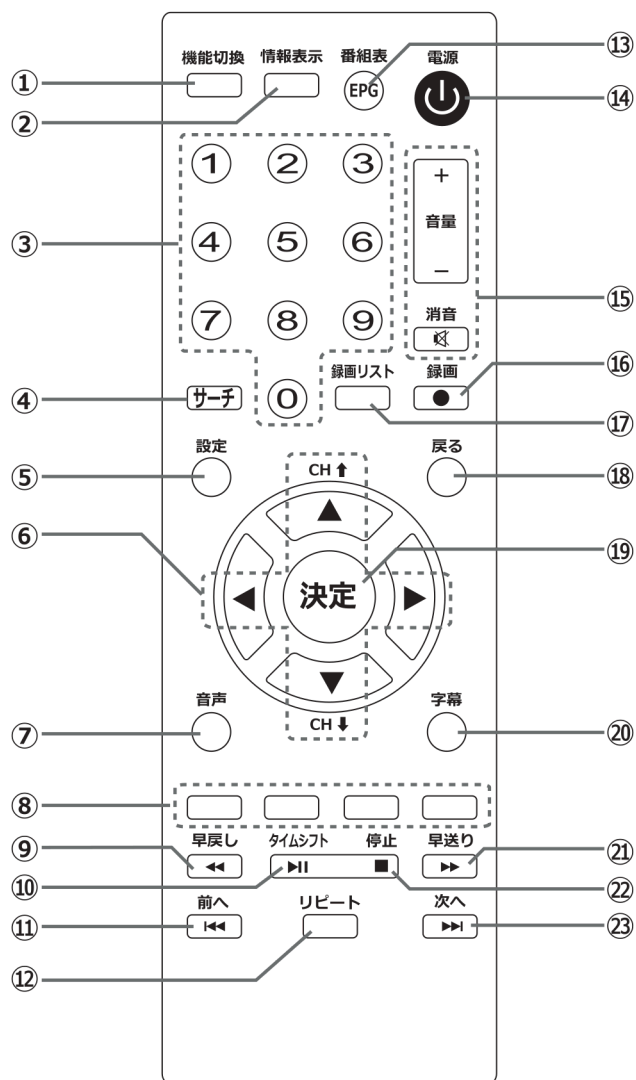
音量を調整／消音する時に使用します。

### 16：録画ボタン

視聴中チャンネルをダイレクトに録画します。

### 17：録画リストボタン

録画したデータリストを表示します。



### 18：戻るボタン

操作項目を戻す時に使用します。

### 19：決定ボタン

選択した項目を決定／実行します  
テレビ番組視聴中に押すと登録された放送局が表示されます。

### 20：字幕ボタン

字幕放送視聴時の字幕設定を行ないます。

### 21：早送りボタン

録画データや外部メモリー内データの早送りを  
行います。

### 22：停止ボタン

再生中の録画データや外部メモリー内データを  
停止します。

### 23：次へボタン

再生中データの一つ後のデータに移動します。



# テレビの設定

## ●テレビの設定手順

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために、下記の設定・接続が必要となります。



## 設置する

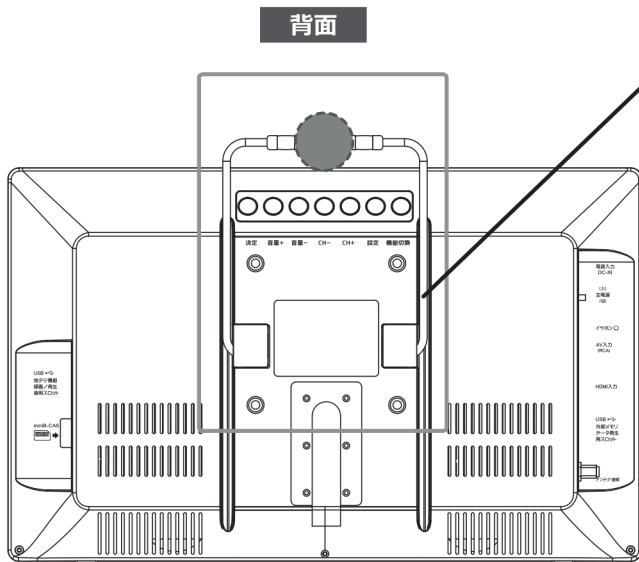
安全に本製品をご利用いただくために下記注意事項を守って設置してください。



**注意**

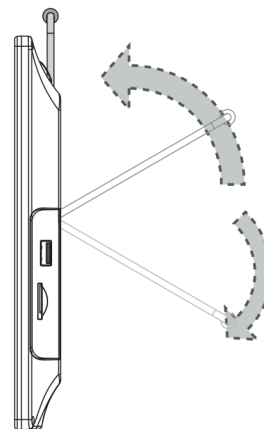
- 極端に温度や湿度が高いまたは低い場所に設置しないでください。
- 本製品を車載する場合は付属の車載用バッグを使用してください。

(!!) 運転中の本製品の操作や視聴は、事故などの原因となる場合があります大変危険です。絶対に行わないでください。



設置用スタンドは本体背面にあります。

- 部分からスタンドアームを引き出します。  
(据置き設置の場合は角度を調整します)  
(壁掛け設置の場合は上まで引き上げます)



横から見た場合 ...

スタンドアームは上下に動きます。

## アンテナの接続

本製品では地上デジタル放送が受信できます。本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

### ●アンテナについてのご注意

UHF アンテナ（地上デジタル用）が設置されているかをご確認ください。UHF アンテナが設置されていない場合、地上デジタル放送はご覧になれません。UHF アンテナのご購入・設置については、電気店や専門の設置業者にご相談ください。

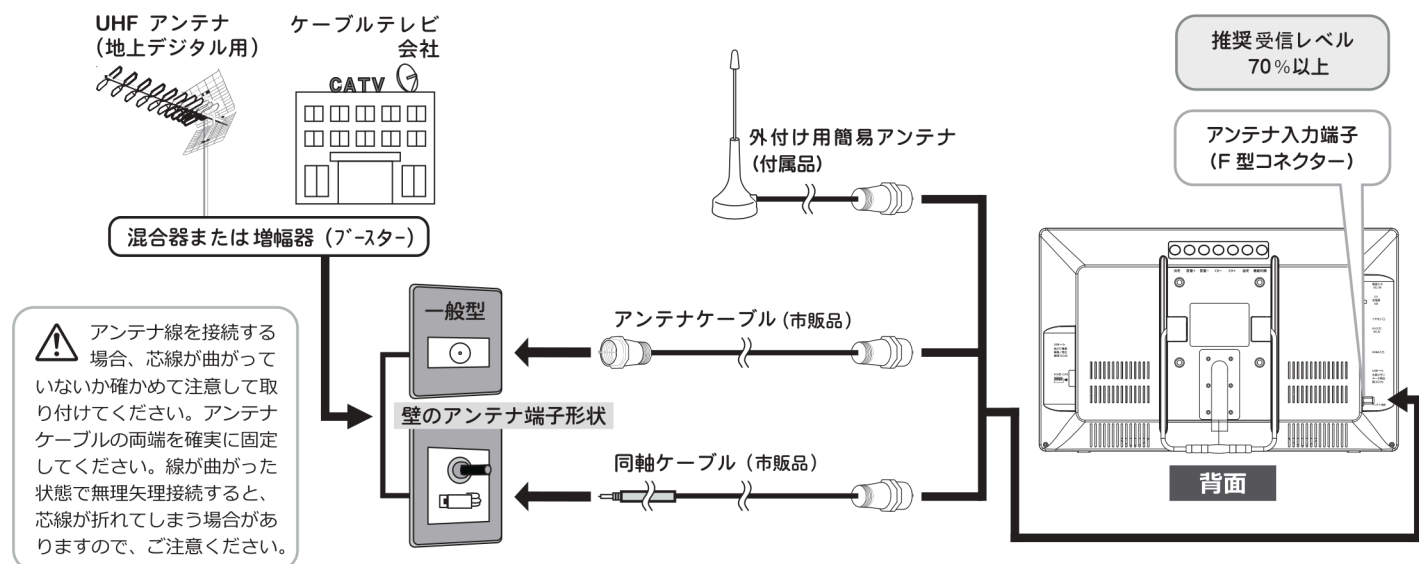
※設置されたアンテナの受信レベルが弱い（低下）場合、画面にモザイク状のノイズが入ったり、画面が表示されずに音声のみになるなどの症状が出る場合があります。この場合、アンテナの取換えや設置位置の調整・ブースター（電波増幅器）の増設などが必要になる場合があります。

※集合住宅などでブースター等を増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者とご相談ください。

### ⚠ 注意 【CATV（ケーブルテレビ）で地上デジタル放送をご視聴されるお客様へ】

各ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なる場合があります。詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問合せください。

### ●接続方法



### ⚠ 注意 室内側(壁)のアンテナ端子形状の確認と接続

#### ●室内側（壁）のアンテナ端子形状の確認

本機を設置する環境により壁側アンテナ端子部の形状が異なりますので、接続時に使用するアンテナケーブル（市販品）の端子形状にご確認ください。

（本体側の端子部形状はF型コネクターです）

#### ●室内側（壁）のアンテナ端子と本機アンテナ端子との接続

上図を参照に室内（壁）のアンテナ端子とアンテナケーブル（市販品）を接続してから、本機アンテナ端子部にしっかり接続してください。

テレビの視聴につきましてのご注意：テレビ電波受信につきましては地域（電界値）やアンテナ等、受信可能な環境のもとでないと視聴できません。弊社では受信保証はしておりませんので、よろしくお願いたします。